



鳴き声が あまりにも恐ろしい！

1月下旬から2月にかけての厳冬期になると、全身虎柄のその名もズバリ「トラツグミ」が時々やってきます。体の大きさは、ヒヨドリと同じで30cm程。普段は亜高山帯にいて、寒くなると雪の少ないところへ降りて来ます。陶史の森の木々や丘陵地が心地よいのでしょうか。

写真を見てもらうと分かるように、大きな目がとてもチャーミングでしょ。でもそのかわいらしい姿に反して、鳴き声は「ヒョー、ヒョー」と、あまりにも寂しげで不気味です。

昼間でも薄暗い森の中や雨降りの日、夜間にもその不気味な鳴き声を響かせます。ですから、地域によってはトラツグミのことを“幽霊鳥”とか“地獄鳥”と呼ぶ所もあります。古くから伝えられる伝説の怪物「鵺」は、トラツグミであるという説もあります。

そうだ！思い出した！35年ほど前、国文学者のような名前の名探偵が出てくる、ある長編ミステリー小説が映画化されました。そのCMキャッチコピーは、確か“鵺の鳴く夜は～、恐ろしい！”だったような！

見た目が可愛らしい分、そのギャップにいつも驚かされてしまいます。



森の日記

3カ所目の「丸太橋」が完成！

昭和50年にオープンした陶史の森には、沢を渡る丸太橋があちこちにありま。2～3年前から徐々に朽ちて、崩落しそうな橋が目立ち始めました。今までに「粉引きの道」、「織部の道」の2カ所で、職員手作りの丸太橋を架け替えました。そして、昨年末には3カ所目の丸太橋が完成しました。



場所は今度も歩いてしかたどり着けない、細い遊歩道の奥の奥です。整地後、ブロックやセメントで土台を作り、11本の丸太の長さをそろえ防腐剤を塗った後、1本ずつ丸太を竹竿にぶら下げ、片道約500メートルを2人で担いで運びます。ちなみに2人が渡っている丸太橋(写真左)も以前完成させた手作りです。

教室のご案内

2月

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
2月25日(日) 午前9時～11時30分
厳冬の野鳥を観察します。

3月

シイタケ教室(要申込・定員30人)
3月4日(日) 午前9時～11時30分
原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学びます。 ※原木は1家族1本

自然教室(自由参加)

3月11日(日) 午前9時～11時30分
春を待つ木の芽や草の芽を調べます。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
3月25日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、希望する方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。